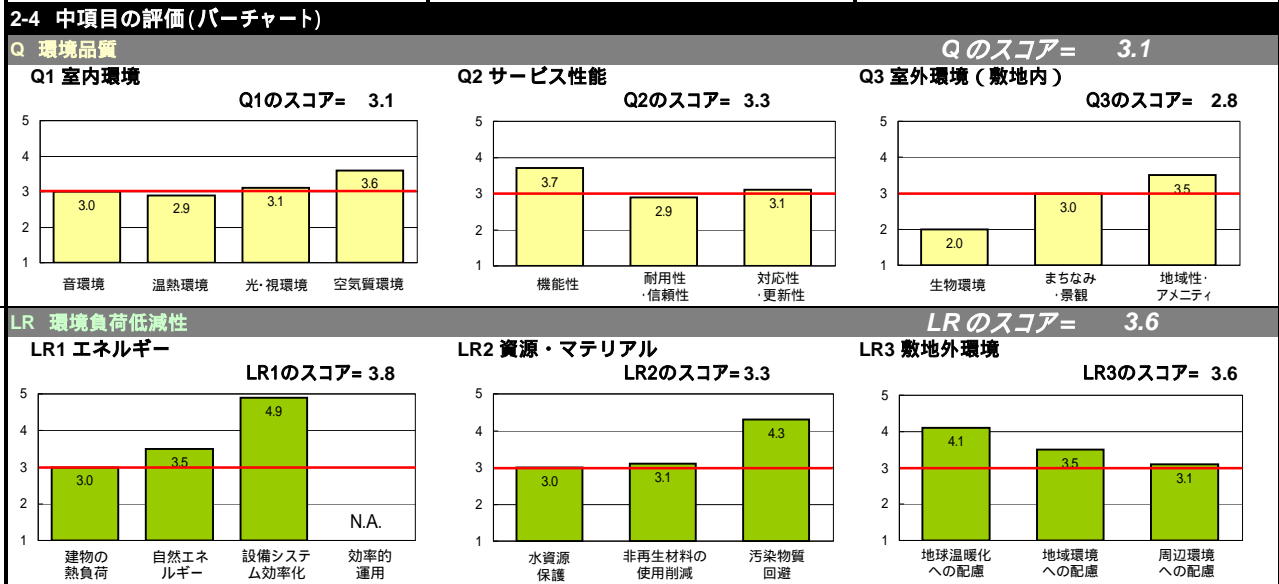
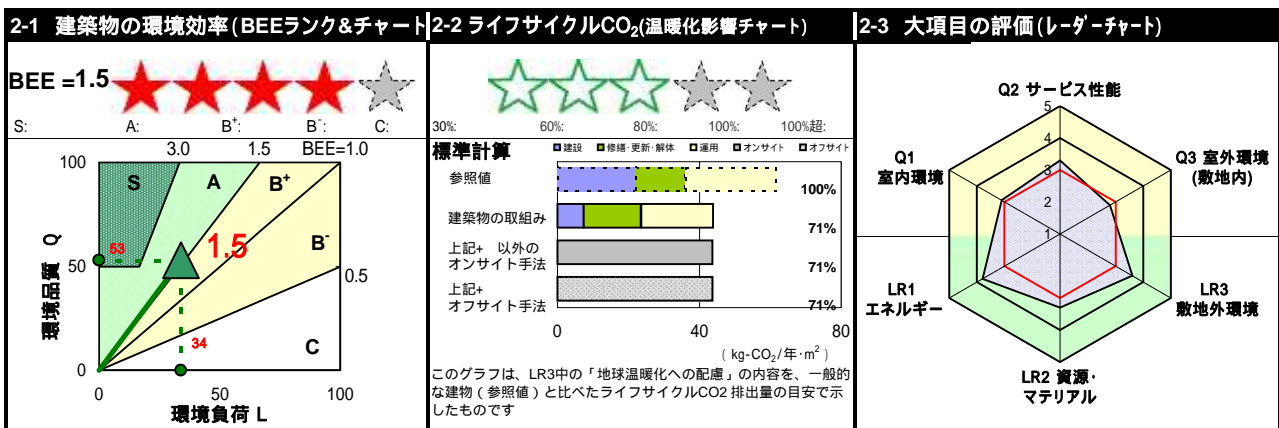


# CASBEE<sup>®</sup> 新築[簡易版]

# 評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年版 使用評価ソフト: CASBEE-Ncb\_2010(v.1.5)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ザ・パークハウス追浜(D棟) 新築工	階数	地上7F、地下1F
建設地	横須賀市追浜東町2丁目3番1他10	構造	RC造
用途地域	第1種中高層住居専用地域、準防	平均居住人員	828 人
気候区分	地域区分	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年1月 予定	評価の実施日	2012年2月10日
敷地面積	10,970 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社安宅設計
建築面積	2,949 m <sup>2</sup>	確認日	2012年2月13日
延床面積	17,588 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社安宅設計



3 設計上の配慮事項	
<b>総合</b> 全体計画は、「丘の上の"Garden City"空と街(天と地)をつなぐところ」をテーマに追浜の次世代の中心となる丘として中央の公園と西・東の2本のまち軸が「賑わいのまち」と「自然と調和するまち」を創りだすような計画となっている。 また、建築計画では、丘の上にエコ生活が展開するというテーマで計画がなされている。	<b>その他</b> 0
<b>Q1 室内環境</b> ・住居部分は、窓を大きく設けて昼光利用をし、採光に配慮する。・仕上材を厳選し、ホルムアルデヒド等の化学汚染物質の発生抑制に配慮する。	<b>Q2 サービス性能</b> ・Gbitクラスの通信回線設備に対応している。・躯体、空調配管等、耐用性に配慮する。・通信設備が非常時に建物機能が維持できるように配慮する。
<b>LR1 エネルギー</b> ・太陽光発電を利用し自然エネルギーの変換利用に配慮している。・高効率な照明器具を採用。電気ヒートポンプ式給湯器を採用。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> ・ハロン消火剤を一切使用せず、汚染物質の使用回避に配慮する。・断熱材は全てノンフロンを採用し、汚染物質の使用回避に配慮している。
	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> ・豊富な緑地を設けて温熱環境や生物環境の向上に配慮する。・周辺からの景観に配慮し、街並みの調和に配慮する。
	<b>LR3 敷地外環境</b> ・大気汚染防止に配慮した設備機器の採用。・新たに外構緑化を設け、敷地外への熱的影響削減に配慮する。・十分な駐車スペースを確保し、敷地外への交通負荷抑制に配慮する。・屋内・屋外から外に漏れる光へ配慮する。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される  
 LCCO<sub>2</sub>の算定条件等については、「LCCO<sub>2</sub>算定条件シート」を参照されたい